

北海道PCB処理事業所 解体撤去の実施予定について (コンデンサ解体設備の解体工事 (その2))

令和 7 年12月23日
中間貯蔵・環境安全事業株式会社
北海道PCB廃棄物処理施設に係る
解体・撤去プロジェクトチーム

今回の解体撤去工事の概要①

■工事名称：北海道PCB廃棄物処理施設（当初）

コンデンサ解体設備の解体工事（その2）（*）

*：令和7年2～4月に実施したコンデンサ解体設備の先行解体工事（4月22日トラブル事案により中止）を「その1」と称している。

■入札公告：令和7年11月

■契約期間：令和8年1月～令和9月3月末（予定）

契約：令和8年1月

試行解体：令和8年3月及び5月（1ヵ月間）

解体工事：令和8年6月～12月末（約6ヵ月間）

■工事対象：コンデンサ解体エリアのうち、高濃度PCB対象機器（約100t）

■目的：

- 解体撤去対象は、高濃度PCBを取り扱っていたプラント設備であるため、真空超音波洗浄装置での処理を計画している。
- 今回工事は、令和7年4月に発生したトラブル（北海道PCB処理事業所からの有価物（金属類）に基準値超PCB含有油が混在して払出し）と同種工事であるため、再発防止策を図り、令和8年3～5月に計画する「試行解体」を行政確認して頂いた後に、解体工事を実施する。

今回の解体撤去工事の概要②

■事前作業






- ・高濃度PCB配管の除去分別

JESCOと運転会社は、高濃度PCB配管の除去分別（洗浄溶剤でPCBを除去して、PCBは事業所の液処理設備で無害化。除去分別は解体工事着手基準（1,000mg/kg以下）まで実施。）する作業を令和8年1月から実施する。（約1カ月間）

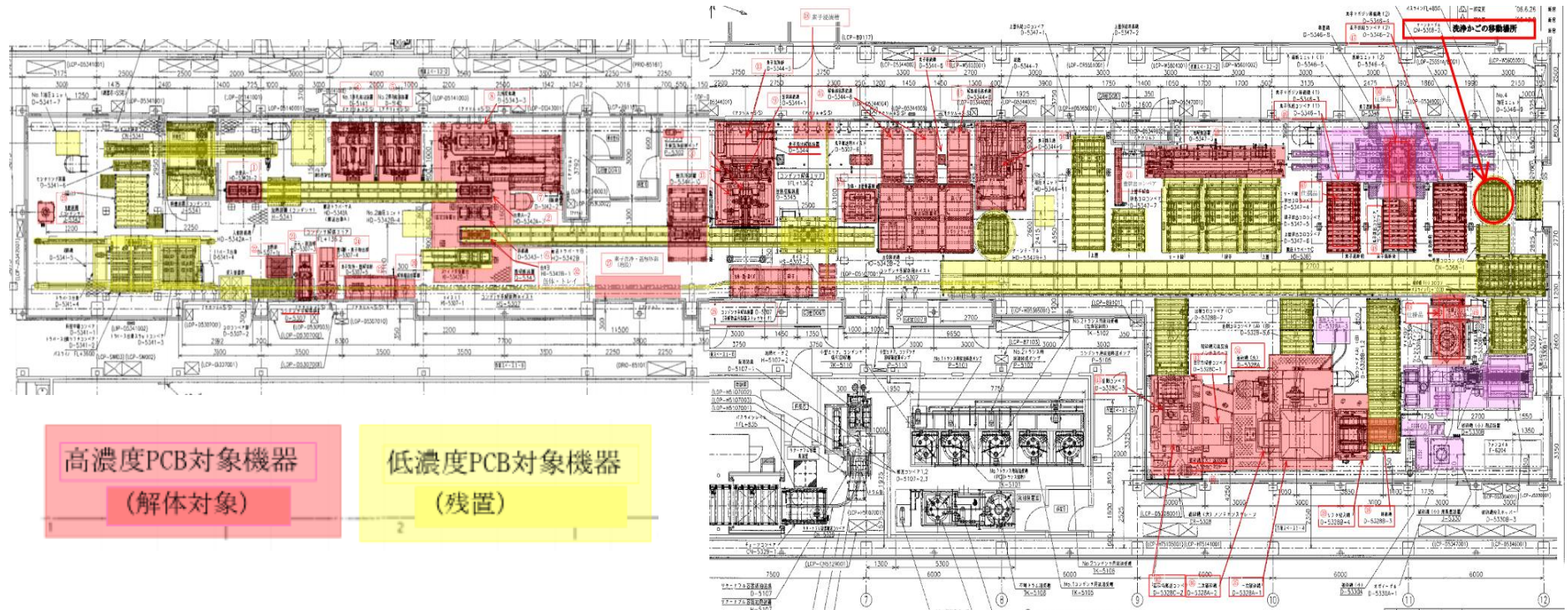
■工事内容

- ・解体撤去機器の合計重量：約100トン（対象機器：4頁。解体撤去範囲：5頁）
- ・解体撤去管理レベルⅢ（高濃度PCB付着レベル）
コンデンサ解体エリア内のPCB作業環境は、除去分別を実施しても $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過しているため、解体撤去管理レベルⅢで工事を実施する。
- ・解体撤去物の処理方法
 - 解体対象機器のうち金属類は、事業所内の真空超音波洗浄装置で洗浄する。洗浄した金属部材は無害化処理認定施設もしくは有価物として払出す。
 - 低濃度PCB付着レベルが確認されたパーツ類はコンデンサ解体エリアに残置して、令和8年度以降の別工事時に無害化処理認定施設に払出す予定。
- ・試行解体
 - 受注者（現場指揮者等）を対象に、JESCOによる座学、及び複雑な構造物を用いた切断教育（模擬作業）を令和8年3月に実施する。（約1週間）
 - 再発防止策が有効に機能していることを確認するため、破砕機（大）などを解体した部材を用いた試行作業を令和8年5月に実施する。（約1カ月間）

今回の解体撤去工事の主な対象機器

対象機器		重量(t)	対象機器		重量(t)
蓋切断装置		15.5	素子取出解体装置		26.1
蓋解体装置		4.5	コンデンサ手解体装置		8.2
破碎機(大)		28.8	ダクト、コンベア、バルブ等		16.8
			合計重量(t)		100

今回の解体撤去工事の対象機器配置図



コンデンサ解体エリア 解体対象機器配置図

今回の解体撤去工事におけるモニタリング計画

■ 排出源・周辺環境モニタリング計画

周辺環境への影響がないことを確認するため、定期的なPCBモニタリングに加えて、高濃度PCBが付着した装置の切断等により作業環境中PCB濃度が高くなると考えられるタイミングで、第2系統排気口のオフライン測定を実施する。

場所	実施者	工事前	工事中	工事後
オフライン測定 (第2系統排気口)	JESCO	1 回	2 回 (定期) + 1 回 (ピーク時)	1 回
解体エリア内作業環境 測定 (法定測定)	受注者	1 回	1 回	1 回
解体エリア内作業環境 測定 (自主測定)	JESCO	毎月	毎月	毎月